

「新潟県厚生連医誌」の発刊にあたって

県厚生連専務理事 小林 稔

新潟県厚生農業協同組合連合会は、その揺籃を愛と奉仕と相互扶助の精神を基調とする協同組合を組織して医療に恵まれない農村に医療機関を設立するという医療組合運動を理想に、昭和8年から22年にかけて相次いで各地に病院が設立され、県農業会、生産連、指導連を経て、昭和27年4月に現在の厚生連となり、既に32年にならんとしております。

その間、日本農村医学会に1年先駆け昭和26年より新潟地方会を33回開催し、また各学会あるいは病院の検討会等で研究結果の報告がなされ、更に医師以外の医療スタッフも職種毎に研究会あるいは研修会を毎年開催し、研鑽された結果の報告がなされております。しかしながら、折角の成果がその場限りでは残念でないかとのことで、この度厚生連医局会理事の方々のご努力により「新潟県厚生連医誌」を発刊することになりました。遅きに失したとは云いながら、誠に喜ばしいことでございます。編集にあたっていただく医局会理事の方々、特に小島国次病理センター長に厚くお礼を申し上げ、本誌の発展を期待いたします。